



教育センターニュース



教育支援課マスコットキャラクター
しえん君

四日市市教育委員会 教育支援課
〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL 354-8283 (代) FAX 359-0280
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課 研修・研究グループ

タブレット端末の基本スキルを確実に身につける 1年

本市では、児童生徒向けの一人一台端末と校内高速大容量の通信ネットワークの整備が行われ、子どもたちがタブレット端末を有効活用できる環境が整いました。タブレット端末は、全ての子どもたちの可能性を引き出すための個別最適な学びを保障したり、協働的な学びを促進したりするマストアイテムです。

今年度は、学校生活や学習活動の中で、子どもと先生が柔軟にタブレット端末を使いこなすために、基本的な操作スキルを定着させる重要な1年となります。

「この1年で確実に身につけたい ICT 操作スキル」をチェック項目にしました。ご確認ください。

先生スキル (P○/○)
小学校用 中学校用

- 児童生徒のノートを撮影し、投影することができる (P4/5)
- 学習者の作業状況を確認できる (P9/11)
- 選択した学習機の画面を表示することができる (P10/12)
- アプリを使い資料を配布し、提出されたものを確認できる (P21/23)
- 児童生徒に必要なスキルを指導できる

児童・生徒のスキル

- ホワイトボード機能を使って文字や絵がかきこめる (P16)
- カメラ機能を使って撮影ができる (P10)
- アプリ内のノートに画像を貼付けることができる (P17)
- 付箋を作成し、文字を入力できる (P18)
- マッピング機能を使うことができる (P19)
- グループワークでノートを共有できる (P23)
- 画面合体を使うことができる (P24)

右側には「らくらく操作ガイド」の elementary school 版と middle school 版、および「タブレット活用 操作ガイドブック」の表紙が示されています。

* 操作方法がわからない場合は、「らくらく操作ガイド」「タブレット 操作ガイドブック」をご活用ください。

ICT 活用実践推進校 公開研修会について

教育委員会では、ICT 活用実践推進校を設置し、学校と連携しながら効果検証を行っています。5校の公開研修会のいずれかに市立小・中学校1名以上の参加をお願いします。また、ミドルリーダー教員研修の必須講座にもなっています。

一人一台端末を授業の中でどう活用するのかを学べる貴重な機会です。期日が近づきましたら、学校掲示板に案内を掲載します。

各校にて確認し、積極的にご参加ください。

日時	開催校	講師
令和 3年 6月18日(金)	河原田小学校 *	関西大学 教授 黒上 晴夫
令和 3年10月27日(水)	大矢知興譲小学校	茨城大学 准教授 小林 祐紀
令和 3年11月 5日(金)	橋北中学校	放送大学 教授 中川 一史
令和 3年11月24日(水)	水沢小学校	金沢学院大学 専任講師 山口 眞希
令和 3年11月29日(月)	西朝明中学校	放送大学 客員教授 佐藤 幸江

* 河原田小公開研修会の開催案内は、5/24 学校掲示板にて案内済



特別支援学級 小集団を活かした学びを

どの年代・発達段階の子どもにとっても、「集団で学ぶ」「集団で暮らす」ことは、将来社会で生きていくために必要な学びの機会であり、特別支援学級でも大切にしたいものです。

特別支援学級で、個別に学習を進めている授業を見かけることがあります。極端な例では、同じ教室内でそれぞれに学習を始めて、バラバラに終わっていることもあります。学習課題が異なる場合でも、授業の開始と終わりの挨拶や、ルールや目標の確認、学習の振り返りなど、みんなで一緒にできることがあります。どんな授業でも、小集団を活かした学びを意識してください。

通常の学級 読み書きの困難さへの取り組み

市内における合理的配慮の事例集「四日市版インクルDB Vol.3」(74事例掲載)には、小・中学校の通常の学級における文字の読み書きの困難さへの取り組みを、10事例掲載していますので、参考にしてください。(学校・園事務DB>070 教育支援課 050 特別支援教育 009 R2.3 四日市版インクルDB vol.3 にあります。)

四日市版インクルDB Vol.3 令和元年度提出事例一覧

事例シート	校種	学年	在籍学級	環境整備			わかる授業づくり			困難さの要因							掲載ページ	困難さの状態	手立て	
				刺激量調整	定位置	ルーブル明確	端的な指示	開始終了	パターン化	めあて明示	見本手本・板書工夫	写真や図	言語理解	知覚推理	Wメモリ	処理速度				同時処理
19小通2019	小	2	通	○	○													21	読み	透明シート
19中通2016	中	2	通															22	読み	ルビや代読
19小通4035	小	4	通				○			○	○	○						24	読み	スラッシュと助詞に○をつける
19小通6004	小	6	通				○			○	○							26	読み書き	タブレット
19小通2020	小	2	通				○			○	○	○						27	読み書き	区切り(スラッシュ)
19中通1014	中	1	通	○			○			○	○							29	読み書き	ルビふりや量の調整
19中通1020	中	1	通							○	○							30	読み書き	別課題やルビ・穴埋めプリント
19中通3023	中	3	通				○			○	○							31	読み書き	ルビ付の教科書・プリント・テスト
19中通1015	中	1	通							○	○							32	読み書き計算	デジ教科書やノート工夫
19中通2010	中	2	通				○	○	○	○	○							40	書き	パソコン活用

児童生徒向けの一人一台端末が整備された今ならば、例えば手書きでルビを振るよりも、端末の活用が効果的です。合理的配慮のためのICT活用について指導主事が一緒に考えますので、ご相談ください。

多層指導モデルMIM (ミム)

「多層指導モデルMIM」とは、初期の「読み」の指導における最大の難関である「特殊音節」に焦点を当て、文字や語句を正しく読んだり、書いたり、なめらかに読んだりすることをめざす指導モデルです。小学校サポートルームで活用され、効果を上げています。

通常の学級でも活用でき、一部の学校で取り組まれています。

もっと知りたい学校には、指導主事がミニ研修会に出向きますので、ご連絡ください。

写真) 市内小学校でのミニ研修会 (特殊音節の視覚化と動作化の体験)の様子

